

平成21年11月期 第3四半期決算短信

平成21年9月30日

上場会社名 アスカ

上場取引所 名

コード番号 7227 URL <http://www.aska.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 片山 敬勝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 竹之内 敏昭

TEL 0566-36-7771

四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年11月期第3四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第3四半期	9,629	—	△447	—	△376	—	△305	—
20年11月期第3四半期	17,670	6.4	946	20.4	959	23.8	521	75.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第3四半期	△54.49	—
20年11月期第3四半期	91.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第3四半期	16,186	4,048	25.0	730.86
20年11月期	19,748	4,400	22.3	770.58

(参考) 自己資本 21年11月期第3四半期 4,048百万円 20年11月期 4,400百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	8.00	—	—	8.00
21年11月期	—	—	—	—	—
21年11月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	△41.2	△480	—	△400	—	△320	—	△57.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第3四半期	5,715,420株	20年11月期	5,715,420株
② 期末自己株式数	21年11月期第3四半期	175,736株	20年11月期	5,136株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第3四半期	5,610,023株	20年11月期第3四半期	5,710,475株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度から、「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成 21 年 11 月期の個別業績予想 (平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	13,400	△41.5	△540	—	△450	—	△340	—	△60	61

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の一巡や景気対策などにより、景気に底入れの兆しが見られたものの、企業収益の大幅な減少や設備過剰感の高まりから設備投資は落ち込みました。また、雇用情勢の悪化から個人消費が低迷するなど国内景気は弱含みの状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、効率の高い製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

これらの結果、売上高は96億2,931万円となりました。利益につきましては、全社をあげての経費削減に努めましたが、売上高減少に伴う利益減を補うことができず、営業損失は4億4,740万円、経常損失は3億7,621万円、四半期純損失は3億567万円となりました。

事業の種類別セグメントごとの概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

大幅な販売量の減少に伴う低操業が続いた結果、当事業の売上高は67億5,074万円となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は14億2,458万円となりました。

〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けを含む自動化システムに加え、IT関連の制御システムへの設備投資も落ち込んだ結果、当事業の売上高は11億9,730万円となりました。

〔その他の事業〕

新規取引先の開拓を積極的に推進した結果、当事業の売上高は2億5,668万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は受取手形及び売掛金の減少などにより35億6,118万円減少し161億8,686万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより32億967万円減少し121億3,814万円となりました。純資産は利益剰余金の減少及び自己株式の増加などにより3億5,150万円減少し40億4,871万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

経営環境の変化を考慮し、平成21年6月30日に公表した連結業績予想を以下のとおり一部修正いたしました。また、個別の業績予想につきましてもあわせて一部修正いたしました。

連結業績予想	売上高	137億円
	営業利益	△4億8千万円
	経常利益	△4億円
	当期純利益	△3億2千万円

個別業績予想	売上高	134億円
	営業利益	△5億4千万円
	経常利益	△4億5千万円
	当期純利益	△3億4千万円

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

当該変更による損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

<追加情報>

（平成20年度 税制改正に伴う機械装置の耐用年数変更）

当社は法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間から機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が73,559千円それぞれ増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	509,565	456,448
受取手形及び売掛金	2,008,896	4,703,468
有価証券	—	176,503
製品	96,810	106,022
仕掛品	404,474	720,816
原材料及び貯蔵品	317,981	324,684
その他	576,383	527,619
貸倒引当金	△162	△235
流動資産合計	3,913,949	7,015,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,940,496	3,104,206
機械装置及び運搬具(純額)	2,409,508	2,755,296
土地	3,689,395	3,704,795
その他(純額)	684,570	838,564
有形固定資産合計	9,723,970	10,402,862
無形固定資産	40,690	53,143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,456,193	1,302,527
その他	1,063,990	981,183
貸倒引当金	△11,934	△7,000
投資その他の資産合計	2,508,250	2,276,710
固定資産合計	12,272,911	12,732,716
資産合計	16,186,860	19,748,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,596,152	5,110,312
短期借入金	3,600,000	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,599,124	2,429,300
未払法人税等	11,146	139,130
賞与引当金	31,998	21,476
その他	891,841	987,199
流動負債合計	8,730,263	12,487,419
固定負債		
長期借入金	2,580,860	1,991,500
退職給付引当金	628,232	642,260
役員退職慰労引当金	198,790	226,643
固定負債合計	3,407,883	2,860,403
負債合計	12,138,146	15,347,822

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,378,424	2,684,101
自己株式	△105,435	△2,985
株主資本合計	4,078,387	4,486,514
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,053	△69,479
為替換算調整勘定	△73,726	△16,812
評価・換算差額等合計	△29,673	△86,292
純資産合計	4,048,714	4,400,222
負債純資産合計	16,186,860	19,748,044

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	9,629,317
売上原価	9,232,748
売上総利益	396,568
販売費及び一般管理費	843,977
営業損失(△)	△447,408
営業外収益	
受取利息	6,973
受取配当金	35,985
持分法による投資利益	8,864
助成金収入	83,138
その他	34,965
営業外収益合計	169,927
営業外費用	
支払利息	63,380
為替差損	26,699
その他	8,655
営業外費用合計	98,735
経常損失(△)	△376,215
特別利益	
貸倒引当金戻入額	72
特別利益合計	72
特別損失	
固定資産売却損	15,400
固定資産除却損	4,065
会員権評価損	4,934
特別損失合計	24,399
税金等調整前四半期純損失(△)	△400,541
法人税、住民税及び事業税	24,410
法人税等調整額	△119,275
法人税等合計	△94,864
四半期純損失(△)	△305,677

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△400,541
減価償却費	942,888
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,861
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,521
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,028
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27,852
デリバティブ評価損益(△は益)	6,413
受取利息及び受取配当金	△42,959
支払利息	63,380
持分法による投資損益(△は益)	△8,864
固定資産除売却損益(△は益)	19,465
売上債権の増減額(△は増加)	2,694,571
たな卸資産の増減額(△は増加)	332,258
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,514,159
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,310
その他	240,417
小計	325,682
利息及び配当金の受取額	44,673
利息の支払額	△64,106
法人税等の支払額	△301,760
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△533,046
投資有価証券の取得による支出	△49,115
投資有価証券の売却による収入	16,100
貸付けによる支出	△15,747
貸付金の回収による収入	4,384
その他の支出	△788
その他の収入	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△578,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000
長期借入れによる収入	2,950,000
長期借入金の返済による支出	△2,190,816
自己株式の取得による支出	△102,449
配当金の支払額	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	456,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△123,385
現金及び現金同等物の期首残高	632,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	509,565

当連結会計年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年8月31日)

	自動車部品事業 (千円)	配電盤事業 (千円)	ロボットシステム事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,750,740	1,424,581	1,197,309	256,686	9,629,317	—	9,629,317
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	132,149	74,492	4,381	211,023	(211,023)	—
計	6,750,740	1,556,730	1,271,801	261,068	9,840,341	(211,023)	9,629,317
営業利益又は営業損失(△)	△532,675	38,069	△14,334	58,427	△450,513	3,105	△447,408

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は内容

事業区分	主要製品又は内容
自動車部品事業	フロア(フロント・リア)、ピラー(フロント・センタ)、マフラー、フード、センタメンバ、サスペンションアーム等
配電盤事業	分電盤、制御盤、FAボックス、盤用キャビネット等
ロボットシステム事業	産業用ロボット(ユニロボ)、自動化システム、制御装置、情報通信機器等
その他の事業	人材教育及び研修事業等

3. 「追加情報」に記載のとおり、当社は法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間から機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「自動車部品事業」の営業損失が64,251千円増加し、「配電盤事業」の営業利益が7,441千円減少し、「ロボットシステム事業」の営業損失が1,867千円増加しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年8月31日)において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年8月31日)において、海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年12月1日 至平成20年8月31日)
	金額(千円)
I 売上高	17,670,919
II 売上原価	15,434,718
売上総利益	2,236,200
III 販売費及び一般管理費	1,289,588
営業利益	946,612
IV 営業外収益	102,055
V 営業外費用	88,824
経常利益	959,844
VI 特別利益	18,917
VII 特別損失	64,993
税金等調整前四半期純利益	913,767
税金費用	392,144
四半期純利益	521,622